

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和4年11月9日

可搬型ハンプを用いたスムーズ横断歩道の試験設置について

～留萌市内の生活道路で通学児童を守る取り組み～

抜け道として利用する車両が多く、速度の速い車両が通学路を通過することが交通安全上の課題となっている留萌市内の生活道路において、留萌開発建設部と留萌市、留萌警察署が連携して現地の確認及び対策実施箇所について検討し、速度抑制対策として可搬型ハンプを用いたスムーズ横断歩道^{※1}の試験設置を行います。

留萌開発建設部では、ビッグデータを用いた分析結果の提供や可搬型ハンプの貸出しを行い、生活道路の交通安全対策を支援しており、分析結果については「ゾーン30プラス」^{※2}の推進のため活用していきます。

記

- 設置期間 : 令和4年11月14日(月)～令和4年12月14日(水)
- 場 所 : 留萌市住之江町3丁目(市道名:住之江7号通り)
- そ の 他 : ・試験設置の詳細については別紙をご参照ください。
・設置期間については予定であり、天候等の状況によっては、前後する可能性があります。

※1 スムーズ横断歩道とは、横断歩道を歩道と同じ高さに盛り上げることで、車両の走行速度を低減させる効果のほか、歩道と横断歩道の通行がスムーズに行えるものです。

※2 ゾーン30プラスについては参考資料を参照ください。

【問合せ先】

- 「生活道路の交通安全対策」、「可搬型ハンプ・スムーズ横断歩道」について

国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課

電話(ダイヤルイン): 0164-42-4526

課 長 福原 潤二 (内線: 351)

課長補佐 加藤 一之 (内線: 352)

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

留萌開発建設部公式Twitterアカウント https://twitter.com/mlit_hkd_rm



- 「現地試験設置」について

留萌市 都市環境部 都市整備課 電話(0164-42-2010)

可搬型ハンプを用いた

別紙

スムーズ横断歩道の試験設置について

■可搬型ハンプ設置場所

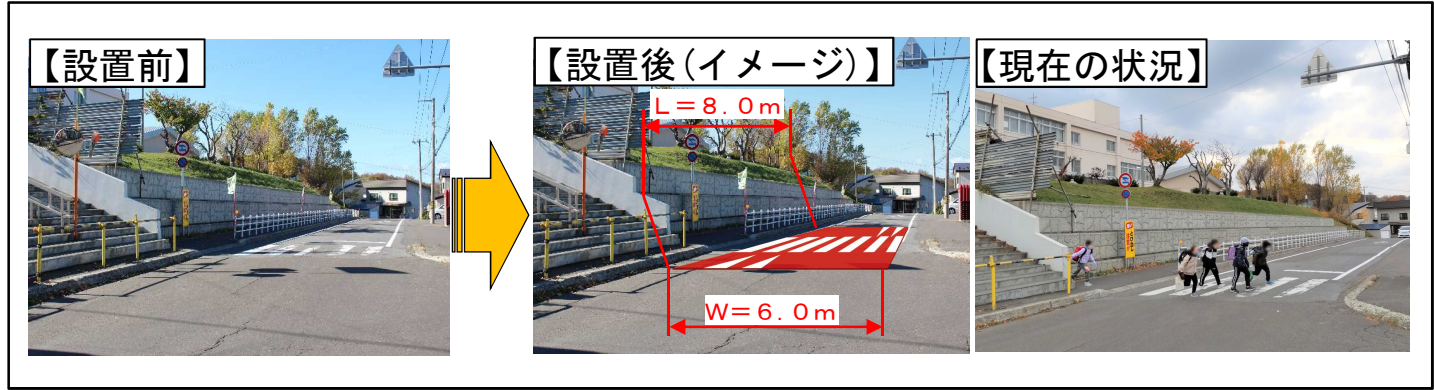
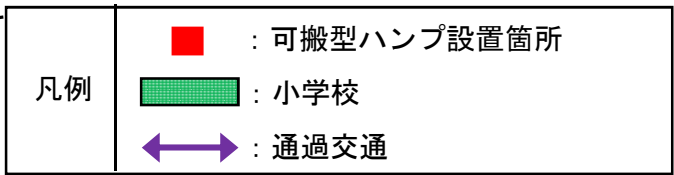
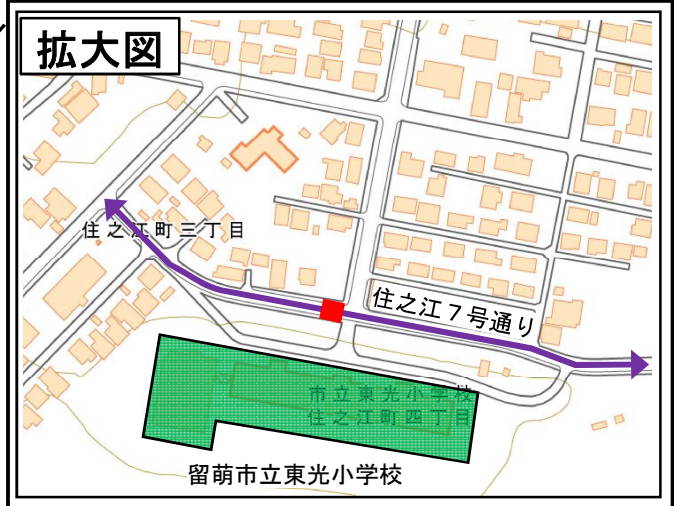
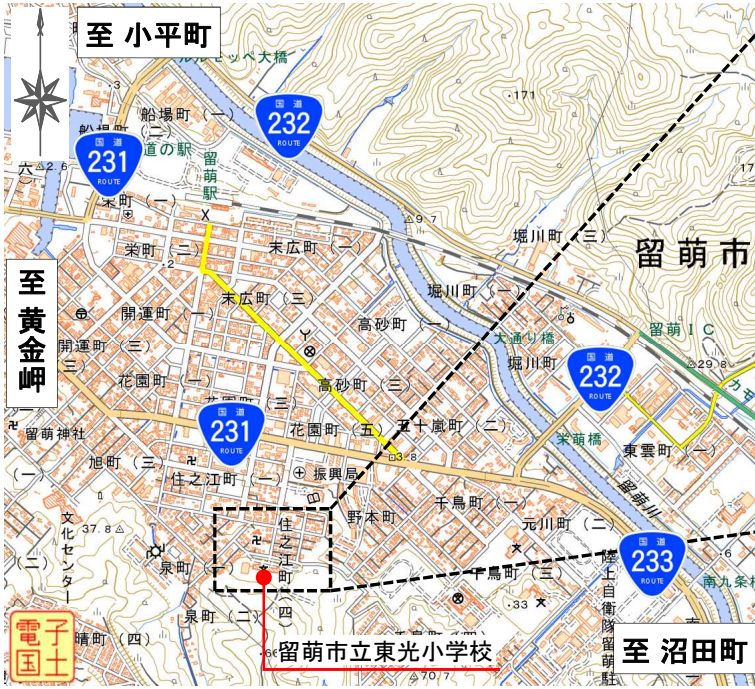
留萌市住之江町3丁目（市道名：住之江7号通り）

■設置期間

令和4年11月14日(月)～令和4年12月14日(水) 予定

【課題】

通学路において、抜け道としての利用や、速度の速い車両が通過している



【可搬型ハンプについて】

可搬型ハンプとは、ドライバーへの注意喚起や、スピードを落とさせることを目的として、道路の路面に据え置くゴム製の凸状のものです。

【参考】可搬型ハンプ



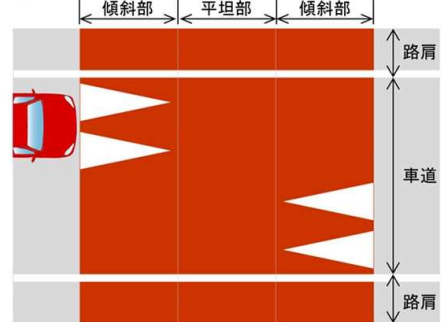
留萌開発建設部では仮設用として設置・撤去が可能な据え置き型のゴム製の可搬型ハンプの貸出しを行っています。

<ハンプ紹介動画>

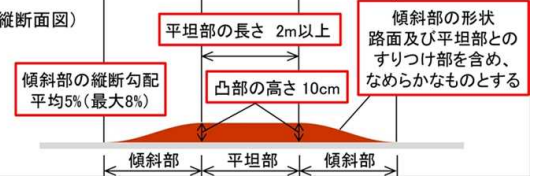


国土技術政策総合研究所

(平面図)



(縦断面図)



国土技術政策総合研究所HPより

生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」

○ 最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定

○ 道路管理者と警察が緊密に連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備

〔「ゾーン30プラス」の入口（イメージ）〕



看板



路面表示

<警察による交通規制>

■ 最高速度30km/hの区域規制等 (ゾーン30)



● 進入抑制対策
● 速度抑制対策

<道路管理者による物理的デバイスの設置>

● 進入抑制対策



ライジングボラード



ハンブ



スムーズ横断歩道

● 速度抑制対策



狭さく



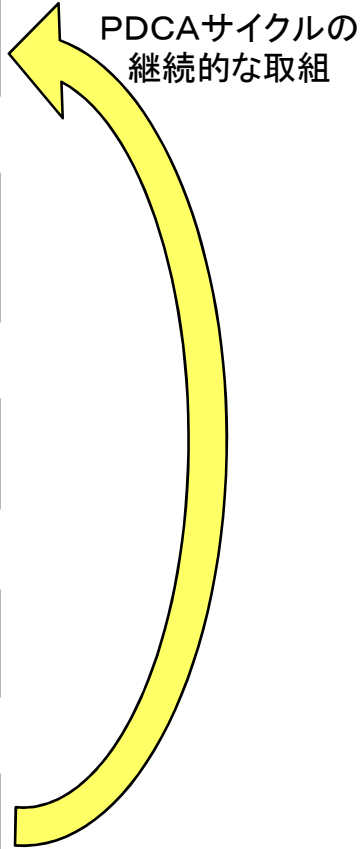
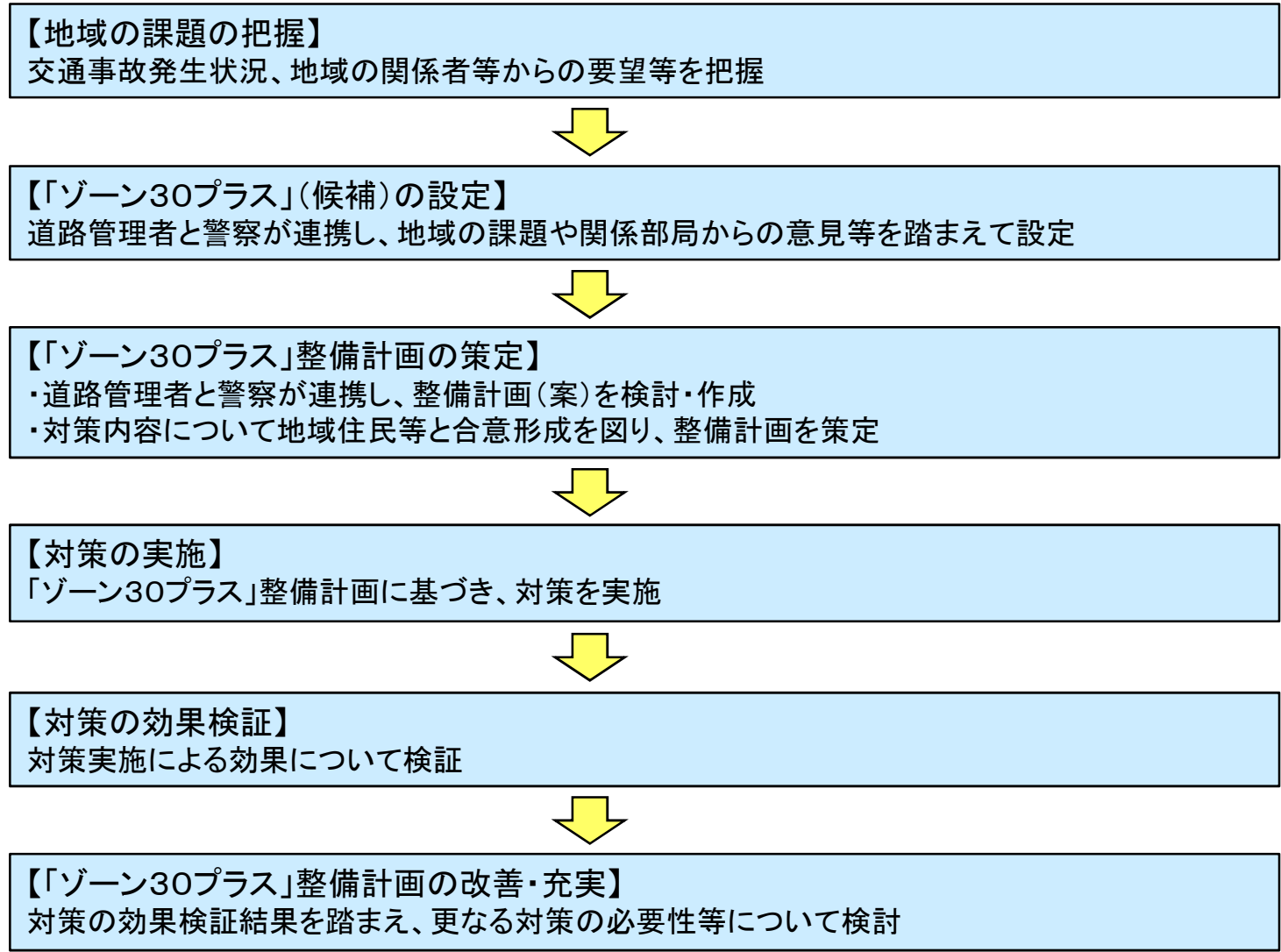
クランク



スラローム

「ゾーン30プラス」の取組フロー

道路管理者及び警察が取り組む内容



【地方整備局等により、取組全般について支援】

例) ビッグデータを用いた分析結果の提供、交通安全診断を行う有識者の斡旋、物理的デバイスの設置事例の紹介 等